

副学校長・教務主任会

内	開催日	平成19年12月 5日 (水)	平成20年12月 3日 (水)	平成21年12月14日 (月)	平成22年12月17日 (金)
	対象	教務主任またはこれに準ずる者	教務主任またはこれに準ずる者	副学校長・教務主任又はこれに準ずる者	副学校長・教務主任又はこれに準ずる者
	会場	アルカディア市ヶ谷 (私学会館)	アルカディア市ヶ谷 (私学会館)	アルカディア市ヶ谷 (私学会館)	アルカディア市ヶ谷 (私学会館)
	人数	159施設 (実習病院含む) 191名	126校143名	150校163名	170校210名
	メインテーマ	「看護基礎教育のあり方について」 —看護の質と量の確保— 専門職としての看護の業務の確立をめざす	「看護基礎教育の更なる充実をめざして」 —学校経営、教育内容・方法につながる評価のあり方、その具体的な取り組み—	「看護実践能力育成の為の効果的な教育をめざして」	「学校自己点検・自己評価の実際」 —授業研究と評価に係る管理者の役割について—
議題	1. 看護基礎教育のあり方について 1) 教育年限の延長 (4年制) を考える 2) 教員の資格要件を考える 2. 学生確保対策について 3. 会員からの提案事項の検討	1. 看護師等養成所にかかわる諸問題について 2. 会員からの提案事項の検討	1. 実態調査結果報告 2. 会員からの提案	1. 学校自己点検・自己評価について 1) 意義について 2) 実例紹介 2. その他	
容	講演テーマ及び講師	「専修学校、各種学校をめぐる最近の動向について」 講師 菊田 薫 氏 (全国専修学校各種学校総連合会 事務局長)	「基礎力を伸ばす授業」 講師 見館 好隆 氏 (一ツ橋大学大学院社会学研究科 キャリアデザイン担当 特任講師)	1. 「看護実践力の育成に向けた発想の転換」 —基礎看護技術の教授方法— 講師 吉田 文子 氏 (山梨県立大学 看護学部 准教授) 2. 講演及びデモンストレーション 「看護基礎教育におけるシミュレーションについて」 講師 阿部 幸恵 氏 (東京医科大学病院卒後研修センター助教・ clinical Simulation Lab 専任管理者)	「授業研究を通じた学校づくりの方法」 ～学校評価と管理者の役割に視点をあてて～ 講師 新井 英靖 氏 (茨城大学 教育学部 准教授)
	その他	議題の検討 全体討議	協議会からの情報提供 議題の検討	「シミュレーションを活用した演習の実際」 1. シミュレーションの説明 松浦 由観 氏 (株式会社京都科学) 2. 模擬授業 阿部 幸恵 氏 ①術後の患者観察と体位変換(フィジコ使用) ②急変対応(シムマン使用)  課題の検討	実例紹介 (1) 土井 満美子 氏 (津山中央看護専門学校 専任教員) (2) 副島 都志子 氏 (長崎市医師会看護専門学校 副学校長) 模擬授業 「基礎看護学—日常生活援助技術—『清潔』」 講師 三浦 真理子 氏 (島田市立看護専門学校 専任教員) 参加者からの授業者へのアドバイス発表 新井講師によるまとめ

内	開催日	平成23年12月19日 (月)	平成24年12月10日 (月)	平成25年12月18日 (水)	平成26年12月17日 (水)
	対象	副学校長・教務主任又はこれに準ずる者	副学校長・教務主任又はこれに準ずる者	副学校長・教務主任又はこれに準ずる者	副学校長・教務主任又はこれに準ずる者
	会場	アルカディア市ヶ谷 (私学会館)	アルカディア市ヶ谷 (私学会館)	アルカディア市ヶ谷 (私学会館)	アルカディア市ヶ谷 (私学会館)
	人数	155校188名	181校214名	196校231名	230校290名
	メインテーマ	「健全な学校運営のための管理者の役割」	「看護基礎教育の充実と発展」 ～教務責任者の役割について～	「看護教育実践者の成長を支援する管理者としての役割」～職場環境づくりを通して～	「看護基礎教育実践に係る管理者の役割」
容	講演テーマ及び講師	「看護基礎教育の質の向上と看護教員を育てる学校」 講師 浅田 匡 氏 (早稲田大学人間科学学術院 教授)	「看護学教育における評価の考え方」 講師 高橋 勝義 氏 (明星大学教育学部教育学科 教授)	「看護教育実践者の成長を支援する管理者としての役割」～職場環境づくりを通して～ 講師 陣田 泰子 氏 (恩賜財団済生会横浜市南部病院 病院長補佐) 「職業実践専門課程にかかる認定制度の創設について」 講師 圓入 由美 氏 (文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課 専修学校教育振興室 室長)	「看護師等養成所の運営に係る事務・権限の移譲に関すること」 講師 奥田 清子氏 (厚生労働省医政局看護課 教育体制推進官)  「発達障害等と見受けられる学生への理解と関わり方」 講師 西井 重超氏 (産業医科大学精神医学教室 助教)
	その他	協議 「看護学教育の内容と方法に関する検討会報告書」に係ること 説明者 当協議会 副会長 三浦 昭子 グループ討議 視点1 看護基礎教育機関での「看護実践能力の養成教育内容及びその工夫」など 視点2 「看護実践能力」の養成に向けての学校運営上の課題と対策	実態調査報告及び質疑応答 1. 「小児・母性看護学実習の内容と方法に関する実態調査」について 2. 「実習指導教員の配置および業務内容に関する実態調査」について グループ討議 1. 科目評価 2. 技術演習評価 3. 基礎看護学実習評価 4. 領域別実習評価 5. 統合実習評価	グループ討議	協議会からの情報提供 1. 補助金事業に関することについて 2. 教務主任養成講習会開催について 3. 看護師教育の教育課程試案について  グループ討議 1. 講演に関すること 2. 実習施設に関すること 3. その他

内	開催日	平成27年12月17日(木)	平成28年12月15日(木)	平成29年12月18日(月)	平成30年12月18日(火)
	対象	副学校長・教務主任又はこれに準ずる者	副学校長・教務主任又はこれに準ずる者	副学校長・教務主任又はこれに準ずる者	副学校長・教務主任又はこれに準ずる者
容	会場	アルカディア市ヶ谷(私学会館)	アルカディア市ヶ谷(私学会館)	アルカディア市ヶ谷(私学会館)	アルカディア市ヶ谷(私学会館)
	人数	199校236名	276校350名	265校341名	296校389名
	メインテーマ	「看護基礎教育実践に係る管理者の役割」	「看護基礎教育カリキュラムを考える」	なし	なし
	講演テーマ及び講師	<p>「地域包括ケアを担う看護職育成の授業展開～『その人の看護』を切れ目なくつなぐ～」</p> <p>講師 児島 由利江氏 (会津医療センター附属病院 副院長 兼看護部長)</p> <p>「地域包括ケアを担う看護職育成の授業展開～在宅看護論(地域看護)の授業の実際～」</p> <p>講師 梶原 奈津子氏 (共立高等看護学院 実習調整者)</p>	<p>「調査結果から見えてきた現行カリキュラムの課題と取り組みについて」</p> <p>(平成27年度『看護師養成所における基礎教育に関する調査報告書』から)</p> <p>①「平成26年度協議会から厚生労働省への提言『改正カリキュラム試案』～社会のニーズに応える看護師教育の教育課程試案～」</p> <p>発表者 時本 圭子 (一般社団法人日本看護学校協議会 副会長)</p> <p>②平成27年度『看護師養成所における基礎教育に関する調査』の結果から見えてきた現行カリキュラムの課題について</p> <p>発表者 山川 美喜子 (一般社団法人日本看護学校協議会 副会長)</p> <p>③領域横断の考え方をカリキュラムに導入した事例の紹介</p> <p>発表者 池西 静江 (一般社団法人日本看護学校協議会 副会長)</p> <p>「特定行為に係る看護師の研修制度」の概要について</p> <p>講師 加藤 典子氏 (厚生労働省医政局看護課 サービス推進室 室長)</p>	<p>「看護教育行政の動向」</p> <p>講師 島田 陽子氏 (厚生労働省医政局看護課 課長)</p> <p>「自校の教育理念に基づいたカリキュラムを考える～カリキュラム開発～」</p> <p>講師 岩本 郁子氏 (東京医療保健大学 東が丘・立川看護学部 准教授)</p> <p>「福島県における看護学校協議会及び医療福祉関連教育機関の実践報告『他職種との連携協同教育』」</p> <p>報告者 渡辺 美保子氏 (ポラリス保健看護学院 教務主任)</p>	<p>「第5次カリキュラム改正に向けて、各校が如何に取り組むべきか」</p> <p>講師 池西 静江(当協議会会長)</p> <p>「多職種連携教育について考える」</p> <p>講師 渡辺 美保子氏 (ポラリス保健看護学院 副学院長)</p> <p>情報提供 「多職種連携教育に係る取り組み状況について」</p> <p>情報提供者 西 泉氏(松阪看護専門学校 副学校長) 渡部 幸子氏(湘南看護専門学校 専任教員)</p>
その他	<p>協議会からの情報提供</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実態調査(平成26年度)結果について</li> <li>2. 看護学生と他職種学生との合同教育について</li> <li>3. 2年課程(通信制)の調査結果について</li> </ol> <p>グループ討議</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護師等養成所の運営に関する事務・権限移譲に関する件</li> <li>2. 地域包括ケアに係るカリキュラムをどう考えるか</li> </ol>	<p>グループ討議</p> <p>「カリキュラムを考える(教育課程に取り入れたいこと)」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 領域横断の積極的な導入の検討</li> <li>2. チーム医療 保健・医療・福祉の協働</li> <li>3. 地域包括ケアシステムにおける看護師の役割</li> </ol>	<p>協議会からの報告</p> <p>「看護教員の継続教育に関する日本看護学校協議会の取り組み 次年度新規事業計画」</p> <p>報告者 池西 静江 (一般社団法人日本看護学校協議会 会長)</p>	<p>グループワーク</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 領域横断を取り入れたカリキュラム編成に関することについて</li> <li>2. 多職種連携教育について</li> <li>3. その他</li> </ol> <p>当協議会からの情報提供及び協議</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「日本看護学校協議会認定『教務主任養成講習会』」について</li> <li>2. 技術教育の実態調査(中間報告)について</li> <li>3. 「看護師教育課程試案」について</li> <li>4. 准看護師教育の卒業時の到達目標(案)について</li> </ol> <p>協議(参加者からの質問・提案などから)</p>	